

第40回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件 名	第40回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会	
日 時	平成23年 5月26日（木） 18：00～20：11	
場 所	庁舎北棟 6階第22会議室	
出席者	委 員	片山信行、木内喜久子、國領弘治、阪本昌彦、佐藤真理、高杉美根子、 田中啓義、田中幹夫、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口裕司、吉岡正志、 吉田隆一、渡邊信久 (今井範子、笹部和男、坊忠一、古海忍、三浦教次、山口清和委員は欠席)
	事務局	吉住参事、堀課長、森田工場長、村田課長、 美馬主幹、平木主任、田中主務
	コンサル	堀 善雄、橋詰裕二、松井 治
開催形態	公開	
記録作成者	奈良市施設課	
配布資料	資料83	第39回策定委員会開催概要及び議事録概要版（案）
	資料84	ならしみんだよりの原稿（案） クリーンセンターの建設に向けて
会 議 内 容		
<p>開 会</p> <p>参事挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第39回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) 施設整備のあり方について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		

議 事 要 約 内 容	
事務局（美馬）	● 今回は奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会の第40回目の会合でございます。最後までよろしくお願い申し上げます。
吉住参事	「参事挨拶」
事務局（美馬）	● 本日の出席状況ですが、委員総数21名のうち本日12名にご出席頂いており、委員会が成立していることをご報告申し上げます。 平成23年度クリーンセンター建設計画の策定業務委託を受けられました株式会社日建技術コンサルタントをご紹介致します。
コンサル（堀）	「本年度受託業者自己紹介」 株式会社日建技術コンサルタント 堀 善雄－管理技術者・廃棄物専門 橋詰裕二－道路専門 松井 治－営業担当
	1. 議 事
渡邊委員長 事務局（美馬）	● 最初に資料の確認をお願いします。 「資料の確認」
渡邊委員長	(1) 第39回策定委員会議事録概要版の確認 ● 議事録概要版について、訂正表が2つあります。一つ目は、私から申し上げたいことがございます。森住委員からの発言、10頁の10行目から 「39回議事録森住委員発言の説明」 この趣旨として、市民の目に触れる紙面での広報を出すべきという話を前回しましたが、この必要性を森住委員が強調されました。何を強調されたかについて、議事録に注釈をつけたいというのが私からの提案です。 「注釈の説明」 当事者の事務局側が情報公開しなければ責められるべきですが、地元の方が情報提供を受けながら、それはすぐには皆に言えないということが必ず起こり、結果的に、リーダーに立った人間が責められることになる可能性があります。そうならないように、行政側から情報公開しなければならないということを強調したかったと注釈を付けさせて頂きたい。
森住委員	● 自治会対象に行政が説明するのは大事ですが、自治会に入っておられない方もおられ、全市民に情報を伝えるのは難しいです。そのことを踏まえ、可能な限り、全市民に知らせる工夫をしなければならないと言ったかっただけです。ここの地元の方も、間に立たれ、非常に苦勞されているのはよく分かっています。そのことを批判するつもりは無く、私も協力したいと思っております。誤解を与えたことを申し訳なく思います。

渡邊委員長	● 森住委員の発言に関する注釈等について、何かご意見ございませんか。もう一つA委員から、前回の委員会での発言について訂正したいと連絡を頂いており、事務局からご説明をお願いします。
事務局（美馬）	「A委員の訂正内容の説明」
渡邊委員長	● 言葉遣いを、概要版としてふさわしいようにということです。全体に書き言葉の方が概要版については良いと思います。 しみんだよりの原稿を事務局に説明して頂きます。前回、木津川市は、広報で公開しているというお話があり、これと比べて、論評を頂けたらいいかと思います。
事務局（村田）	(2) 施設整備のあり方について 「資料84修正版の説明」
渡邊委員長	● 建設候補地の位置図が左の上にあり、候補地の選定経過があります。この選定経過の文字の間違いは無いと思います。
田中副委員長	● 報告を受けました、の6行目ですが、「行っていただき」は委員会のメンバーに敬語使って頂いていますが、「行っていき」で良くないですか。あと、今後の奈良市の取り組みの最後の「進めて行きます」の、「行く」も平仮名で良いと思います。
佐藤委員	● 全体的に細かく、漢字が多すぎます。中身ですが、左下に選定経過を書いています、どの候補地をどういう角度から選んだのか全然無いです。我々が条件に挙げた項目の数項目ぐらいいは入れられないか。前に折り込みA3一枚くらいでどうですかということをお願いしたんですが、それは無理ですか。今後の奈良市の取り組みのところは全体的には良いです。
B委員	● 一回で終わらず、時間かけ、最大限の努力をして、候補地を選定したということをもっと理解頂くということが先決で、2回3回とやって頂きたい。2行目に26年以上の施設。何をもちって26年という数字を設定されたかは分かりません。その2行後の公害調停申請人の代表等21名も、21名のうち、公害調停の方が偏ってると思われる感じがあります。
森住委員	● 今までの経過を丁寧に説明していくという基本方針で、誰が書くのかを、議論すべきです。委員会の広報と位置付けた方がいいと思います。体制作りを、まず議論したほうが良いと思います。
渡邊委員長	● 正論と思いますが、話が大きくなっています。
森住委員	● ダイオキシン問題で論争のあった能勢も、市民参加の委員会ができました。編集委員も委員の中から立候補され、その方達が原稿を作り、委員会で見て出しました。委員会主催で、中間報告会もしました。そうすると、関心の持つ市民がたくさん来られ、広報の仕方のどこが良くないかを指摘してくれます。そういうことを、私達もやった方がいいと思います。
B委員	● ごみについては難しい大変な仕事ということで、広報課もしみんだより

安田副委員長	<p>のスペースについて、ある程度有利に対応してくれていると思います。スペースの確保・拡大を是非やって頂きたい。</p> <p>● 今の話ですが、目的からずれてくるのではないのかと感じます。前回話が出たのは、現状を市民に知ってもらうということであり、委員会が色々な広報紙を出すということは、今後の話と思います。今、市にお返しした段階なので、この紙面のような状態で、まず取り急ぎ目的を果たすということで、良いと思います。</p>
佐藤委員	<p>● 安田副委員長の言われるとおりに、早く出すことに意味があるので、今の段階でこれをベースに、市の広報を早く出す。これからの進め方については、市に2か所に絞った報告をあげ、市が直接交渉するということですが、我々も一緒に、地元との話し合いに参加し、選定経過を説明する責任があるので、地元左京と、2か所の候補地ということで、最低2回は説明会をさせて頂きたい。市内全域どちらでも出向いて説明させて頂く用意があるということをお願い、アクションを起こさないと進まないと思います。</p>
元島委員	<p>● 候補地が来なかった地区の方こそ、しっかり認識してもらうため、3回ぐらいで、初めの経緯からこんな状態ですということを出す。例えばタウンミーティングでも、その他の部を作って頂き、そこで対象となってる左京の人の苦情のお話もしてもらい、十何か所かあった場所にも行き、奈良の人皆さんがごみのことについての話を共有し、痛み分けをする。両方の人に、これがどんな姿で受けってもらうということを、市長の思いもつめて、一緒に討議をして説明もしてもらうことが大事だと思います。</p>
山口（裕）委員	<p>● 今日出されている修正版の形で、なるべく早く皆さんにお知らせしたほうが良いと思います。その上で、何らかの市民の皆さんからの反応や疑問点が出されると思います。それをこの委員会で議論し、2回目3回目と、これまでの経過にも触れて、疑問・質問にお答えできるようなシリーズにできたらいいと思います。</p>
渡邊委員長	<p>● まず市が出す広報は、早い方が良く、少し直した方が良いが、大きな間違いは無い。火の粉が去ったと思っている地域の方に、是非読んで頂きたい。そして1回で終わるのは良くない。署名記事という意見が出ました。タウンミーティングなどで、東部地域や、左京だけでなく、それ以外の地域にも、乗り込んでいくべきであるというお話でした。最初はこの市の発表で良いと思いますが、これに対する反響や疑問をQ&Aの形で今後出す。気を付けないといけないのは、最新の情報を常に出すということを心がけると苦しくなります。少し古い情報で害にならないところから、情報を知ってもらうような連載物で良いと思います。全て市役所が作るものでなくて構わない。現在の候補地になってる地域に集約するとき、やはり道路問題が大きな問題になり、これをクリアしないといけない。それに対して市全体として、多めに税金を使っても何ら問題はないというコンセンサス</p>

	<p>が形成されるよう、地元がごねていると映らないよう、東部地域と左京地域以外の方にも、よく知ってもら。そういう目的で、このような広報を出すということ。しかもそれを何回か読みやすい記事で作るといのはいかがでしょうか。</p>
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 市の立場で広報してもらおうということだと思います。只、地元と話し合いを進める上で、スムーズにいくため、あるいはリーダーの肩の荷を軽くするという配慮で広報する姿勢が大事だと思います。山口委員もおっしゃっていましたが、一度出して、色々な反応を見ながら逐次進めていくという慎重な対応が必要です。漢字が多すぎるとおっしゃいましたが。漢字は文章の中で3割程度。読んでもらうための配慮は必要だと思います。
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業では、漢字と漢字以外との割り振りを3：7ぐらいの文章にしないと教えてきました。そのぐらいが一番読みやすいと言われてます。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 渡邊委員長にまとめて頂いた通りで良いと思います。特にQ&Aという言い方をされましたが、それは読みやすいと思います。
阪本委員	<ul style="list-style-type: none"> ● ひとまずこれで、早急に出す。5年振り返り、奈良市全域から網を被せて、地形をピックアップし、次に2次選定で、平成19年11月に15か所に選定し、中間報告を出しました。あと第3次選定。そして現在。道路問題等含めて、東部の方との話し合いが今後のテーマですが、1、2、3次選定の段階を経て、シリーズ物を毎回読んで頂いたら、これまでの経緯も振り返って頂き易いと考えます。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● タウンミーティングでこの問題について踏み込み、委員に実情を話してもらうことは可能かどうか。3月に報告し、数ヶ月経ち、東部地域の役員の方々も中々難しいという状況で、地元の人々にもお知らせし、市全体にもお知らせし、東部地域の今ある要求事項について、対応を図っていくということも非常に大事です。取り敢えず中間報告という形で、東部に入っていくことも、左京に入っていくことも必要です。まず広報で第一弾を出した上で、東部地域と左京で、中間報告をした委員会の人にも同行してもらって説明懇談会を早く企画し、踏み出す必要があると思います。
安田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● しみんだよりを見る側からの意見ですが、候補地の選定経過の中で、15か所、9か所、4か所、2か所になったところを、目に留まるような工夫をしてみたらどうかと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 15か所くらいのときの絵が大事だと思います。今までどういう経緯だったという特集があった方がいいと思います。この地図だけで終わらせず経緯をお知らせし、この地図の前に、この地域も候補に挙がっていたと印象付ける必要があると思います。委員会が作るというお話がありましたが、市が主体的に作った広報に対して、横や下に委員会よりというような形で書いたらいいと思います。時には量が逆転して策定委員会が書く文章の方が多いいいと思いますが、バランスは気を付けたいと思

森住委員	<p>ます。連載で読みやすく、興味そそるように、対象地域だけにターゲットを絞らず、市全体にアピールするように進めたらどうでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 詳しい資料を読みたくなる動機に使って頂くということなら、安田副委員長のような案で、もう少し字数を減らして、ポイントだけを書いたほうが良いと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良市側から東部地域に対する道路の具体的な提案は怠れないので、進めて頂きたいと思います。細かな状況報告は、公開の場ではできないこともあると思いますので、状況により、発表できる段階になってからで充分だと思います。それより、これまでの経過等を市民全体にお知らせし、自分達もひと肌脱ぐという気持ちになってもらうことが大事です。大体方向は見えてきたと思います。
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報の件ですが、委員の方々の意見を受けて作り直しますが、最後については、事務局で対応させて頂き、広報に出させて頂いて良いでしょうか。
渡邊委員長 事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● 最後は、私に見せてください。 ● そのようにさせて頂きます。
渡邊委員長	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 木津川市で焼却施設の建設計画が進行していますが、その状況を事務局からご説明頂きます。
事務局（吉住）	<p>「木津川市の焼却施設建設計画の状況説明」</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活環境影響評価ですか。環境アセスメントとは違いますか？
事務局（吉住）	<ul style="list-style-type: none"> ● 条例上の名前です。基本的には環境アセスメントと同様のものです。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 今の件ですが、どのようなアセスメントにしたらいいかについて意見を聞くためのヒアリングです。アセスメントは、昔から議論されて項目決まっているので、改めて市民に聞く必要がないことをしておられるのです。ほとんど意味のないパブリックコメントです。
事務局（吉住）	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しいごみ焼却施設を造るには、それぞれ条例を持っており、京都府は96 t以上のごみ処理施設は、環境アセスメントの条例に基づいた手続が必要です。木津川市は、その規定に基づいて対応されており、条例手続きの中の最初の段階で、仮に奈良市で候補地が決まると同じような対応をする必要があります。どんな調査をします。それに対して周辺の方のご意見や、こんな調査では足りない、もっと違う調査、もっと広い地域で調査しなければならないというご意見を頂き、それを受けて、調査方法を決定し、1年間の調査になります。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 条例の手続きの階段の一段目を上がっていったという考えです。奈良市にとって、横の市でもあり、非常に気になる場所です。報告して頂きました。推移をこれから見守っていきたいと思います。 <p>今日、用意したのはこれで終わりですが、この委員会として、2か所選</p>

	<p>定までいったので、あと市役所と地元との話し合いをしてくださいということで、一旦議論はお返しし、勉強会をしまして、この広報で市民全体に広く知らせて欲しいという形でここまでできています。これから暫く広報の話も、案を作って議論頂き、どんどん載せていくようにしたいと思います。あとは状況に応じ、なるべく早く進めたいので、東部の道路問題、どういう提案でのんでもらえそうだとか、あるいは社会実験の話も以前から言っております、道路の渋滞状況、交差点の改良などが、どれくらい効果があるのかということも、逐次ご報告頂けたらいいかと思えます。このような形で進めていきたいかと思えます。最近、焼却炉は特にトラブルは起こってないでしょうか？</p>
<p>事務局（森田） 渡邊委員長 事務局（森田） 吉田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状と致しましては、順調に稼動しております。 ● 毎年やはり何らかの修繕はやってらっしゃるんですね？ ● 点検・補修は毎年欠かさずしております。 ● 先程の広報の中の内容ですが、真ん中の辺りの策定委員会からの報告の2番目の1つ目に、早期に周辺住民との合意形成を図りとありますが、合意形成という中身ですが、東部地区と話し合う奈良市の方から、説明頂きたいんですが、どういう条件でどういう範囲のところの同意なのか。
<p>事務局（吉住）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 既に稼動している他市の施設建設では、環境アセスメントを実施するには、地元に入る必要があり、その実施に対して同意を受けておられる所がございます。アセスメントの結果を持って、改めて地元に入り、問題点や環境対策に対して、どのように対応していくか説明し、併せて、通常は地元が地元協議会という組織を立ち上げ、最終的には地元協議会と各市町村と協定書を作成し、建設稼動に動いている所もでございます。只、各市町村によって対応は様々。そのようにしておられるのが全てでは無いですが、基本的に地元の協力を元に作業は進みますので、協議会と協定書を作成し、建設されているところが多いです。奈良市としては、他都市の建設事業の地元対応を参考に進めていきたいと考えています。
<p>吉田委員 事務局（吉住）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象というのも環境アセスの影響を受ける範囲ということでしょうか。 ● どういう範囲を対象にするかはまだ明確には決めておりません。隣接自治会だけを対象にされている市町村、何百mというエリアを設定されている市町村もあり、今後検討していくべきものと思えます。奈良市で一般廃棄物処分場の建設には指導要綱があり、ここでは500mとされていますので目安とし、隣接自治会をどこまで対象とするのかは、他都市の事例も含め、今後検討したいと思えます。只、2キロ、3キロ離れたから関係無いということでは無いので、地元から説明に来て欲しいというお話は、距離関係無しに、対応しなければならないと考えます。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 合意形成という言葉が、環境省の通達で、産業廃棄物ですか？必ず地元の合意をとらなければならないというのを一時期強く書き、撤回したこと

	<p>があり、そのことだと思えます。産業廃棄物の処理施設を造るにあたり、地元の了解を得なければならない、という通達を、環境省が現場のことをあまり考えず書いたところ大混乱を招いたことがありました。これを合意形成という決めたものは特に無く曖昧ですが、その地域だけでなく、周辺を含めて協力したほうが、今後のために大事だと、皆が思えるようになるまで、持っていかないと問題になるので、気を付けたいです。非常に重要なご指摘です。</p>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通の社会実験は、来月に計画されておられるとお聞きしたんですが、今の進捗状況と、地元にはどのような形で協力して頂き、実施するのか、この2つについてお願いしたい。十分な打ち合わせを、どういう体制ですか非常に大事に思えます。そのご説明をお願いしたいと思います。
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● 実際に車を走らせての実験ですが、今の予定では6月下旬を予定しており、その計画書を作っている状況です。計画書ができ次第、地元の方にも、それをお見せし、協力を依頼したいと考えています。 <p>混雑する時期が、パッカー車で走っている日ですので、祝日はもちろん走りますが、数が少ない特異日ですので、平日の朝と考えています。一番混雑するのが、朝7時半から8時の間くらいですので、その前後一時間づつくらいを捉えています。</p>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 台数は想定されておられるんですか。
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● パッカー車、ごみ収集車が現在約50何台。朝7時40分頃に、今の清掃工場を出発しますので、その状況を作りたいと考えております。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 東部地域の地元からの参加の状況は何か聞いてますか。
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後できるだけ早い時期に、地元の方に計画書を渡し、協力を依頼したいと思っています。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 6月下旬にというのは、話は行っていますか？
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回初めてここで報告させて頂いております。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 遅すぎないですか？ もっと準備期間が必要と思う。1月前ぐらいに言っただけだと、急に言われたら困ります。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常に重要なことと思うので、地元で口頭で打診してからというのは無理ですか？ 重要なことですので、9月、10月はどうでしょう。
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元の方と、早急に日程調整した上で、実施させて頂きたいと思えます。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 密接に打ち合わせて計画を立て、かなり時間をかけないと、地元の方も相談できないままになります。そこが一番大事だと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 不信感を招かないようにする最大の努力を払いたいと思えます。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 東部地域からのリクエストに答えるための調査に、地元の人にたくさん入って頂き、重要な役割を担って頂き、その調査と一緒にやってもらわないと意味がないと思えます。それと、3月に報告しましたから、委員とともに、一緒に地元で説明懇談会をしたいと申し入れを東部地域と左京にし

渡邊委員長	<p>てほしい。同時に、どういう施設を造るのかということも早く進めていく。まず地元で踏み出していくという方向を決めてほしいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東部だけでなく、市域全体に対して知ってもらおうということで、取り敢えず、しみんだよりを出して、動き出したという印象を与えることが、大事だと思います。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● なぜこの2か所になったのかを地元で直接説明させて頂きたいということ、こちらから、通知して段取組んでもらうという意味です。そろそろ、そういう動きをしないと進みません。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 説明会では無く、今まで4年してきたことの報告会だと明確にした方がいいと思います。そうしないと、私達も行政の委員ですから、行政と一緒に進めに来たと誤解されます。ですから報告会ということも明確にした方がいいと思います。これまでの事実経過を報告するのであり、こういうプランを持っているということ、あまり強調しない方がいいと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 事を先に進めるというより、合意形成を得るための作業という形で進めたいと思います。事務局は社会実験の件を今から打診して、できたら秋がいいと思います。それから報告会。言葉は色々な言い方もありますが、少し工夫しながら全市的なコンセンサスを得るための活動に踏み出していきたい。全部市がしているのではなく、市民も入った委員会をしているという印象を強く与えて進めた方がいいと思います。
B委員 事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● 26年以上という数字はよく分かりません。修正してください。 ● 今の清掃工場ですが、昭和57年3月に一番古いのが1基できてます。次に昭和60年8月に残りの3基、合計4基で480tになっています。昭和60年8月を捉えて26年と言っております。
B委員 事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● 市の報告書は46年の秋です。 ● その施設は、建て替えて、現在ございません。
B委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 建て替えたことを書いておりません。市の報告書にもありません。それは国土地理院の航空写真もそうです。公団から土地を譲渡した契約書もそうになっています。ニュータウンの25年史の中にも46年と書いてある。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● この文章、施設設置後、既に40年。以上、以下をやめ、40年経過し、そのあと括弧を付けまして、現有施設で最も古いものは、何年間稼働してますというふうに。何年という数字を複数書かれたらどうですか。地元からすると40年という感覚になります。それは施設設置から40年。現有施設の最古のものは何年と書けば、建て替えたという事実に対しても間違いはありません。公害調停になったという経緯の発端でもあり、皆さん敏感に反応される場所だと思います。これは注意したいと思います。
事務局（吉住）	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の環境清美工場の敷地ですが、120トン炉3基360トン、昭和46年に竣工しています。その後、人口増にで、360トンでは到底足りないということで、昭和57年に120トン炉1基増設しています。それで合わせて480ト

<p>B 委員</p>	<p>ンになります。元々の炉も古いので、それも建て替えて、昭和60年に120トン炉を3基竣工しています。結果的に480トンとして、現在市内全域のごみを焼却しています。昭和60年に3基竣工しましたので、それを対象に26年以上と表現しているところです。</p> <p>● 参考資料、市が議会が出しておられ、使っておられる資料にはそんなこと書いてません。</p>
<p>佐藤委員 B 委員 渡邊委員長</p>	<p>● 先程、委員長がまとめておられたような形で整理されたらどうですか。</p> <p>● 公害調停で問題になった事項が、飛んでしまってる。</p> <p>● 公害調停が事の発端だったというのは、Q&Aで書くべきだと思います。ここでいきなり書いたらどうかと思います。施設設置で40年。現有施設で最も古いのが何年と書けば地元からも異論はないし、事実と反しないと思います。何年以上と書くのは、敏感に反応する人にとってはまずいかもしれない。</p>
<p>渡邊委員長 事務局（吉住）</p>	<p>● 今から少し修正して、しみんだよりに載るのはいつ頃ですか。</p> <p>● 3月2日に報告を受けましたので、広報広聴課にできるだけ早く載せてほしいとお願いしています。特に重要な話ということで、広報の担当者も理解頂いていますので、早急に載せて頂くような対応をしております。</p>
<p>渡邊委員長 B 委員 事務局（吉住） 佐藤委員 事務局（吉住）</p>	<p>● 努力しがいいがあると思います。</p> <p>● 奈良市は何月の締め切りはいつまでという、事務的に線が入ってますね。</p> <p>● 7月号については、明日の5月27日が締め切りです。</p> <p>● いけますね。</p> <p>● 締め切りであって、データを全て集めて、页数決まっていますので、果たして枠が取れるかどうかはこれからの話です。</p>
<p>佐藤委員 渡邊委員長 事務局（吉住）</p>	<p>● 委員長、次の日程は8月4日でしょう。その次、決めてください。</p> <p>● 8月はお盆休暇もありますので、その間の作業考えると、9月16日の金曜日、どうでしょう。</p> <p>● 何らかの議会对応で、どうしても出席しなければならないとなれば、一部担当者は、策定委員会は欠席という対応をさせて頂くかも分かりませんが、ゼロということはないようにしますので、委員長がおっしゃった9月16日で、準備させて頂きます。</p>
<p>渡邊委員長 事務局（美馬）</p>	<p>● では、9月16日金曜日ということで。今日は白熱した議論になりましたが、円滑な議論の進行にご協力頂き、有り難うございます。</p> <p>● 委員の皆様方には、長時間に渡りまして有り難うございました。次回策定委員会は、8月4日木曜日です。会場は人権啓発センターを予定しております。次回もご出席よろしくお願い致します。本日はこれもちまして閉会とさせて頂きます。有り難うございました。</p>